



私は、子どもの頃、地球儀が大好きでした。遊びから泥だらけになって帰ってきて、

就寝前には決まってベッドに座って地球儀を回すことが日課でした。地球儀をぐるぐる回して、いろんな国を旅するのが大好きでした。自然に国名や都名を覚えていきました。そして、いつか外国に行つてみたいと思うのでした。もう一つ大好きだったのが、各種図鑑でした。動物図鑑に昆虫図鑑、植物図鑑に魚図鑑といろんな図鑑を見て楽しむのが大好きでした。特に興味があつたのが、魚図鑑でした。更に、近くの沢に出かけては、天然の美しいイワナを釣るのが趣味でもありました。豊かな自然の中で、岩を駆け上り、イワナが潜んでいそうなところに、そっと釣り糸をたれると、ぐぐぐぐぐつとアタリがきます。イワナがえさを飲み込むのを待って、一気に引き上げます。すると、陰しくもあり美しい顔をしたイワナが目の前に現れます。ここまで書くと、ずいぶん変わった子

だと思いでしょ。しかしまだまだ、物好きに拍車がかかり、大人になった少年は、オアフ沖でブルーマリーンを釣り上げ、カナダでノーザンパイクとたたかい、ピビ島でバシヨウカジキを釣り逃がします。

さて、「くせ」という言葉を広辞苑で調べてみます。すると、こう書いてあります。①かたよった嗜好または習慣。②「なくて七ー」「甘やかす」となるぞ。③いつもそうであること。ならい。④欠点。避難すべきこと。⑤ある状態になつて、もとにもどしにくくなること。また、その状態。e t c。どうやらあまりよい意味で使われることが少ないようです。「くせ」から思い浮かぶ言葉をあげてみても、「口ぐせ」「怠けぐせ」「酒ぐせ」「ねぐせ」「女ぐせ」「男ぐせ」など、不快な気持ちにさせる言葉がしばしば耳に入ってくることに気がきます。

そんなくせの中にも、すてきなくせがあります。それは、誰に言われるでもなく自分から進んで学ぶという「学びぐせ」です。人は、生涯学び続けま

す。ですから、よい学びぐせを身につけたとしたら、一生の宝となるのです。そして、学びぐせの土台のほとんどは、幼少期から思春期にかけて築

かれていきます。遊びの術に身につけるために食欲になる子どもたちの姿を見ればわかりでしょう。しかし、巷では、「学力低下」とか「学ぶ意欲の低下」とか、「学びからの逃走」といった言葉がはびこっています。ゆとり教育が失敗したのでしょうか。教師の資質が低下したのでしょうか。はたまた、学ぶ大人の姿が見えなくなつてしまつたのでしょうか。

そんなことはありません。本来、学ぶという資質を受け継いでこの世に生まれてきた私たちは、常に何かを感じ何かを学んでいるのです。ですから、宿題が苦手な小学生も、授業をさぼつてしまいたいと思う中学生も、受験勉強に疲れた高校生も、あわてず穏やかにできるだけの力で学んでみてください。ノーベル化学賞を受賞した小柴氏曰く、「若いうちにとにかくたくさん学びなさい。あれもこれもと欲張つて、何でもかんでもやつてみなさい。若いうちは、失敗が許されます。必ずよかつたと思えるときが来ますよ。」

さあさあ、大人も子どもも、自分に合った「学びぐせ」を身につけましょう。さあさあ、今からレッツトライ！学びぐせは、一生の宝です。

第16回税を考える図画コンクール

都留市青色申告宣言の都市推進委員会では、「租税知識」の推進のため、市内小学5年生を対象に『みんなの税金によってつくられた、あなたのまわりにあるものな～に』のテーマにより、図画作品を募集しました。

厳正な審査の結果、応募総数363点の中から優秀作品が次のとおり決定しました。



大月税務署長賞



山梨県総合県税事務所長賞



都留市長賞

大月税務署長賞	近藤秀憲	禾一小
山梨県総合県税事務所長賞	植松奏恵	東桂小
都留市長賞	渡邊美帆	谷一小
都留市教育長賞	園田亜莉沙	宝小
都留市商工会長賞	佐藤拓哉	谷一小
東京地方税理士会大月支部長賞	岡部将伍	禾二小
都留市商店連合会長賞	藤井拓弥	旭小
都留機械金属工業協同組合理事長賞	小林 颯	附属小
都留市青色申告宣言の都市推進委員長賞	瀧本悠希	谷二小
大月小売酒販組合都留支部長賞	渡辺実乃里	東桂小
大月青色申告会都留支部長賞	国利眞生	東桂小
入選		
谷一小	佐藤克哉	山口ゆみ
	本山佳緒莉	田辺千晶
谷二小	武井晃太	
附属小	重森大介	
東桂小	西野遙花	志村 穰
宝小	菅原和真	三枝美喜
禾一小	中村恵夢	渡辺 京
禾二小	後藤大輔	中野愛実
旭小	岩澤紗理恵	山本真理子